



2017年  
11月号

発行所  
神戸教区事務所  
TEL 078(351)5469  
FAX 078(382)1095  
<http://www.nskk.org/kobe/>

発行責任者  
司祭 芳我秀一

印刷所  
文明堂印刷所

## 神戸教区に新主教誕生！ 第8代目主教に小林尚明師が就任！！

### 主教に按手されて



9月23日(土・祝) 神戸聖ミカエル大聖堂で、500名以上の方々が見守る中、植松誠首座主教様をはじめ現職主教9名、大韓聖公会から3名の主教様、退職主教様達、英国よりジョン・ハインド主教様を含め19名の主教様達に手を置いて頂き、無事主教に叙任されました。準備委員長の上原信幸常置委員長をはじめ、

式典長の林和広司祭、大聖堂参事会のみなさん、神戸伝道区のみなさん、聖ミカエル教会のみなさん、それらの方々の奉仕を一つにまとめ上げてくださった教区事務所の大東正人主事、また多くの方々のご奉仕によって、素晴らしい按手式を終えることができました。感謝です。

### \*主教とは

みなさん主教様って、何をされる人だと思いませんか？赤い服を着て、一年に一回教会に来る人ですか。『主教職とは何か(白石庵敬神会発行)』という小さな本があります。聖公会神学院の恩師塚田理司祭(元立教大学総長・聖公会神学院教授)が書かれたものです。

その本を要約してみますと、「主教職は、教会のために建てられたものである。教会は、聖霊によって建てられ、イエス・キリストのように人々を愛し、和解させ、病人を癒し、そしてまたそのために自らの生命を犠牲にすることも辞さない共同体であり、一口で言えば、教会はイエス・キリストのように人々に奉仕するための存在」と言われています。そして「教会のこれらの職務が使徒たちによって伝えられ」、「エピスコポス―監督、あるいは主教―と呼ばれて来た人々は、自分のあずかった教会がまさにこの『使徒達の教会』という同じであるように『監督する』責任をゆだねられた」というのです。要は、使徒たちによって伝えられたイエス様の働きを今の教会が行っているかを見つめ、指導するのが主教様の仕事です。そして具体的にはイエス・キリストの福音を宣べ伝えるこ

と、洗礼及びユーカーリスト(聖餐式)を主宰すること、会衆の信仰生活のための牧会上、規律上の配慮を行うこと、聖職按手によって、未来に向けて教会を伝達することなどが主教の仕事だと説明されています。ですから主教は、いつもイエス様を見つめ、教会を見つめていなければなりません。



### \*高齢者を訪問すること

聖公会神学院を卒業して、最初の赴任地は徳島県阿南市にある富岡キリスト教会でした。私が30歳そこそこだったと思いますが、牧野道信さんという立派な信徒さんがおられて、「小林先生、もし先生が主教になったら、地方の教会を巡回する時教会に来られな

いお年寄りを訪問してくださいませんか」と話されたことがありました。こちらにも主教になるとは思いませんので、軽い気持ちで「もしなったら、…」と答えました。すると牧野さん「本当ですよ。約束しましたよ」と念を押されました。その牧野さんと約束したことが、ずっと心に残っています。地方の教会を巡回した時、その牧師さんをお願いして、一人か二人の信徒さんを訪問したいと思います。今まで神戸教区を支えてくださっていた方々を訪問します。よろしくお願いします。

(神戸教区主教

オーガスチン 小林 尚明)

